



SDGs 未来都市

豊橋市

(公社) 愛知県建築士事務所協会東三河支部

©豊橋市トヨッキー



支部長

萩本 茂夫

地震による火災の過半数は電気が原因という事実。

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

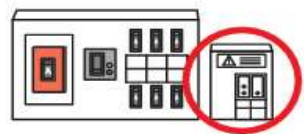
費用: 約5~8万円(標準的なもの)
※電気工が必要



分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。
※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

費用: 約2万円
※電気工が必要



コンセントタイプ

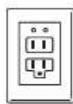
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

費用: 約5千円~2万円程度

(埋込型)

壁面などに取り付けて使うもの

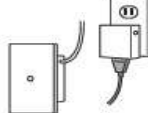
※電気工が必要



(タップ型)

既存のコンセントに差し込んで使うもの

※電気工が不要



簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。

費用: 約2~4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能
(電気工不要)



感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

地震検知

検知から3分後

警報 ON(3分間)

警報 OFF

通電

通電遮断

地震探知後3分以内に
停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを
自動遮断します。

感震ブレーカーの設定に際しては、
急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要です。

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
 - 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。
- ※感震ブレーカーの設置に関わらず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、平時から停電対策に取り組みましょう。

耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。

- 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を見合わせる必要があります。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましょう。

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

東日本大震災
における火災
の発生原因



FDMA 消防庁
住民と暮らしに Fire and Disaster Management Agency

2次元コード



事務所協会東三河支部
2次元コード